

平成19年度・第5回技術委員会議事録

開催日時 平成19年10月9日(火) 午後5時から午後6時
 場所 京都コンピュータ学院新館4階会議室
 議題 1. SE/システム高度化研究会開催状況報告
 2. 10月12日開催の京都情報化フォーラムと会員懇親会について
 3. 2月8日開催の技術セミナーについて
 4. その他

出席者

委員長	中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)	三上 雅弘
副委員長	ムラテック情報システム(株)	大濱 剛
副委員長	アステック(株)	藤野 一朗
委員	ウエダコンピュータシステム(株)	武部 裕彦
委員	(株)京信システムサービス	井出口雅昭
(欠席) 委員	エスピーメディアアテック(株)	奥田 光司
委員	(株)日立製作所京都支店	米盛 弘明
委員	京都情報大学院大学	英保 茂
(欠席) 委員	(株)エクザム	木下 豊
委員	(株)ユニシス	蔵立 幸一
委員	(株)クリエイトジャパン	篠原美佐子
委員	エイジシステム(株)	渡辺 透
(欠席) 事業推進委員長	京都電子計算(株)	駒井 一正
事業推進副委員長	島津エス・ディー(株)	山本 孝
事務局	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院	和田 壽郎

議 事

1. SE/システム高度化研究会開催状況報告

- (1) 品質問題研究会(9/27、10名参加) エイジシステム株式会社会議室にて開催(井出口委員報告)
 - ・事前実施したアンケートをもとに各社の取り組み報告。武部委員から「品質」とは何かについて解説、クレーム処理のサンプル等提示。今回はクレーム対応を実際にどのように行うか、各社のフローをサンプルに討議。実態が聞けて有意義であった。
- (2) 情報セキュリティ問題研究会(9/19、5名参加) 中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)会議室にて開催(大濱副委員長報告)
 - ・顔合わせ、昨年の討議内容の報告ののち5年前と現在を対比しながら、各社の取り組みについて発表。今回はPマーク取得の実例等を踏まえて、どういう対策をとるかなどを討議。参加者は少ないがいろいろな話が出て、あっという間に時間が過ぎた。
- (3) 新技術利用&開発効率問題研究会(9/18、13名参加) 京都コンピュータ学院駅前校新館4階会議室にて開催(藤野副委員長報告)
 - ・世話役1名を除いて全員出席、自己紹介およびテーマに関して各社の問題点を収集する中でこれからの討議テーマを絞り込む。アンケートも実施。若手SEが多数参加しており意見交換も活発。
- (4) 報告会のテーマ設定について

研究会で進めてきたこととテーマ設定がそぐわない場合があるとの指摘。研究会での討議内容を尊重し、報告会での報告に盛り込んでほしい「観点」を提示することとしたい。

2. 10月12日開催の京都情報化フォーラムと会員懇親会について

(1) 参加予定者の確認

- ・事務局より会員の参加は昨年なみであるが、外部参加が少ない旨報告。参加呼びかけを依頼

(2) 進行手順等の詳細打合せ

- ・米盛委員より、当日使用する資料配布のうえ講演内容の詳細について説明
- ・進行手順等の打合せ

3. 2月8日開催の技術セミナーについて

(1) セミナーのテーマおよび講師（決定）

①「Web2.0とコラボレーションの勧め」

NEC 市場開発推進本部 本部長 塩川 正二

インターネットを利用したビジネスの新しいフレームワークであるWeb2.0は、近年ビジネスに大きなインパクトを与え、さらに、Web2.0を企業内で活用するというエンタープライズ2.0へと進化している。今回の講演では、NECのエンタープライズ2.0への取り組み、社内事例を通じ、その構成要素であるSNS、ブログ、Wikiさらには検索エンジン、評判分析などを利用した企業間ビジネスコラボレーションの勧めを案内する。

- ② 当初、第1案として候補にあげた「メッシュ型無線LAN」は、総務省の実証実験結果を踏まえた公表時期が20年5月以降との回答があったことから、技術セミナーの開催に間に合わないこととなった。来年度の情報化フォーラムのテーマとして再度検討したい。

4. その他

(1) 情報技術マップのデータ分析に注力する（委員長）

- (2) 次回以降の委員会で来年度の事業内容を検討していきたい。各委員に発言を求めますので事前の検討をお願いします。

- (3) 次回委員会は11月13日(火)17時より京都コンピュータ学院新館4階会議室で開催する。なお、当日は引き続き18時より「新技術利用&開発効率問題研究会」が開催されます。

以上